

ミズゴケ目ミズゴケ科

ハリミズゴケ

Sphagnum cuspidatum Hoffm.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵 17

島根県固有評価：—

環境省：—

【選定理由】

これまで県東部の1ヵ所で標本が採集されているが、その生育地は道路工事により消失した。最近になって県中部において新たな生育が確認されている。中国地方における生育は、県中部のものと、山口県内での記録があるのみであり、生育地はきわめて少ない。

【概要】

植物体は淡緑色で、大きさには変異が大きい。茎葉は舌状三角形、先端はやや鋭く鋸歯をもつ。枝葉は長卵形である。国内では、北海道から九州の中間～高層湿原などに生育する。

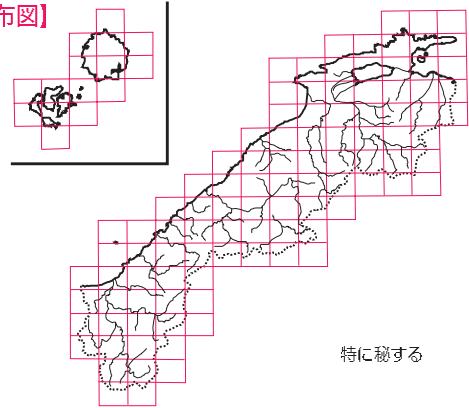
【県内での生育地域・生育環境】

県中部の限られた場所でのみ確認されている。生育環境は、溜池の中および水際の過湿な場所である。その他の地域での生育は不明である。

【存続を脅かす原因】

土地造成、道路工事などによる生育地の消失。

【分布図】



特に秘する

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	溜池	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○												○									

マコケ垂綱キセルゴケ目キセルゴケ科

クマノゴケ

Theriotia lorifolia Card.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵 17

島根県固有評価：—

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

生育地も限定されているうえに、量的にもきわめて少ない。環境省によるカテゴリーでは準絶滅危惧に指定されている。

【概要】

植物体はイクビゴケに似ているが、クマノゴケの地は川の水しぶきがかかるような岩石に付着して生育している。植物体は黒緑色で、葉は多層の細胞から成り立ち、葉緑体のある細胞層とない細胞層が明瞭に分かれている。国内では本州～九州にかけて生育している。

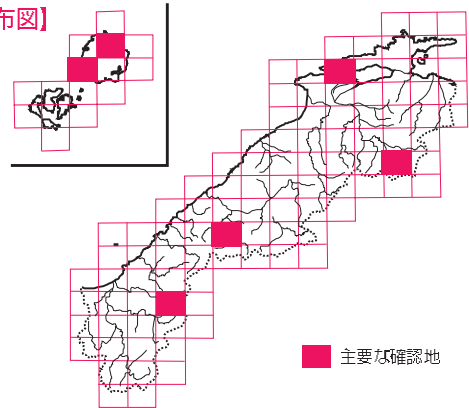
【県内での生育地域・生育環境】

県東部～西部・隠岐（島後）の限られた地域の川筋で水しぶきがかかる岩上に生育しているが、量的にはきわめて少ない。

【存続を脅かす原因】

観光客による踏み荒らし、川の改良工事によるコケ植物体の付着した岩石の埋没。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	庭園	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○													○									